

NEWS RELEASE (令和5年1月13日) 取材依頼

ロボット手術センター開設記念 市民公開講座を開催

～ からだに優しい最先端の手術 ロボット手術について知ろう！ ～

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しましては、大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学病院では、ロボット手術センターの開設に伴い、次のとおり市民公開講座を開催しますので、是非、取材・報道くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、取材を希望される報道機関の方は、1月18日(水)17時までに、鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係へ申込みのご連絡をお願いします。

記

【概要】

このたび、鹿児島大学病院では、ロボット手術による高度かつ先進的な医療の実践、優秀な外科医の育成を目的として、令和4年12月1日付けで「ロボット手術センター」を開設し、「からだに優しい最先端の手術 ロボット手術について知ろう！」と題した、ロボット手術を分かりやすく紹介する市民公開講座を開催する運びとなりました。

現在、我が国の医療には、ゲノム医療の導入、AI技術の進歩などを背景に、従来は想定できなかったイノベーションやパラダイムシフトが起っています。その中でも、巧緻性に富んだ手術を軽微な患者侵襲で行えるロボット支援手術の分野は、新機種の登場も相まって、急速な発展を遂げています。

鹿児島県は、稼働している手術ロボット機器数が福岡県に次いで九州第2位と、ロボット手術先進県です。当院では、平成29年に腹腔鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ システム」を導入し、令和4年からは、国産初の手術支援ロボット「ヒノトリ システム」を九州で2施設目として導入したところです。

当院のロボット手術実績は、「ダ・ヴィンチ」導入時の平成29年は20件程度でしたが、泌尿器科、婦人科、消化器外科、呼吸器外科の保険適用の拡大に伴い、令和4年は10倍以上の約290件に増え、これまで多くの患者さんの期待に応えてまいりました。新規ロボットである「ヒノトリ」に関しては、11月には泌尿器科で九州2施設目の前立腺全摘出術が行われ、12月には婦人科で世界初の子宮全摘出術が行われました。将来的には、離島を多く抱える鹿児島県にある当院だからこそ必要なロボット遠隔手術の実現を目指し、地域間医療格差の解消に貢献していく所存です。

今回の市民公開講座を通して、ロボット手術という安全かつ良質な医療をより身近に感じていただき、「からだに優しいロボット手術」の恩恵を1人でも多くの患者さんへ届けられればと願っています。

【日時】 令和5年1月21日（土） 13:30 ～ 15:30（受付開始 13:00）

【場所】 鹿児島大学 郡元キャンパス 稲盛会館（鹿児島市郡元1-21-40）

【内容】

開会・主催者挨拶

第一部: 鹿児島大学病院におけるロボット手術紹介「ロボット手術の現状と今後の紹介」

- ・大塚隆生(消化器外科 教授)
- ・上田和弘(呼吸器外科 特任准教授)
- ・榎田英樹(ロボット手術センター 副センター長／泌尿器科 教授)
- ・戸上真一(産科婦人科 准教授)
- ・家入里志(小児外科 教授)

第二部: ロボット手術センターの紹介

- ・榎田英樹(ロボット手術センター 副センター長／泌尿器科 教授)

第三部: パネルディスカッション

事前にいただいた市民の皆様からの質問に第一部の登壇者がお答えします。

閉会挨拶

- ◆ 取材の際は、新型コロナウイルス感染症対策のため、手指衛生、不織布マスクの着用、体温の確認(37.5℃未満)を厳守願います。
- ◆ 当日は、12:40に稲盛会館へお集まりください。
一般の参加者が入場する前に、出席者全員の集合写真を撮影する予定です。

【問い合わせ先】

(市民公開講座の内容に関すること) 小林 裕明 教授、戸上 真一 准教授
産科婦人科 医局
TEL:099-275-5423

(報道・広報に関すること) 鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係 小山 (おやま)
TEL:099-275-6710
メールアドレス: kufsyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp